

## テキストの特色

- このテキストは、6年生の2学期までに学習したことがらをしっかりと復習し、学力をきちんと身につけることを目標としています。
- 全部で8講座からなり、各講座4ページ(「8. 明治・大正時代の日本の歩み」は3ページ)にまとめてあります。
- 各講座の最初にある「要点の整理」で覚えるべきことがらや重要なポイントを確かめていき、「要点チェック」、「練習問題」を解くことで、学力の定着をはかります。



## も く じ

1	<small>けんぽう</small> 憲法とわたしたちの暮らし ……………	2
2	暮らしを支える政治……………	6
3	日本の成り立ち ……………	10
4	貴族の世の中 ……………	14
5	武士の世の中 ……………	18
6	<small>えど</small> 江戸時代の世の中……………	22
7	<small>めいじ</small> 明治時代の国づくり……………	26
8	<small>たいしょう</small> 明治・大正時代の日本の歩み ……………	30



## 1

けんぽう  
憲法とわたしたちの暮らし

## ✦ 学習内容

- ・日本国憲法
- ・日本国憲法の三原則

## ❖ 要点の整理

## 1 日本国憲法

憲法は国のあらゆるきまりの中で最高のもの(最高法規)で、国の政治の基本的なあり方を定めたものである。日本国憲法は、**国民主権・平和主義・基本的人権の尊重**の3つを原則としている。

	日本国憲法
成立	1946年11月3日公布、1947年5月3日施行
種類	民定憲法(国民が制定)
主権	国民
天皇の地位	日本国と日本国民統合の象徴
人権	基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」として保証
国民の義務	教育・勤労・納税
国会	国権の最高機関で唯一の立法機関 衆議院と参議院の二院制
軍隊	戦力を持たない・交戦権を認めない

## 2 国民主権

日本国憲法では、国の政治を進める**主権**は**国民**にあると定めている。主権者である国民が直接選んだ代表者がつくる国会が、**国権の最高機関**であるとされるのも、国民主権のあらわれである。は主権者ではなく、「日本国の象徴であり、国民統合の象徴」とされている。天皇は、政治についての決定権を持たず、内閣の助言と承認にもとづき、形式的・儀礼的な国事行為のみを行う。

## 3 基本的人権の尊重

すべての人間が生まれながらにして持っている、自由・平等で、人間らしく生きる権利を**基本的人権**という。日本国憲法では基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」として認めている。同時に、濫用をいましめるため、**公共の福祉**(社会の大多数の人々の利益)のためにこれを利用する責任があることを定めている。社会が大きく変化するとともに、日本国憲法に直接規定されていない、**環境権、知る権利、プライバシーの権利**などの新しい権利が主張されるようになっていく。

## 基本的人権

- 平等権
  - ・法の下での平等
  - ・男女の平等
  - ・選挙における平等
- 自由権
  - ・身体的自由
  - ・精神の自由
  - ・経済活動の自由
- 社会権
  - ・生存権
  - ・教育を受ける権利
  - ・勤労の権利
  - ・労働基本権
- 基本的人権を守るための権利
  - ・参政権
  - ・請求権
- 憲法には規定されていない新しい権利
  - ・環境権
  - ・知る権利
  - ・プライバシーの権利

## 4 平和主義

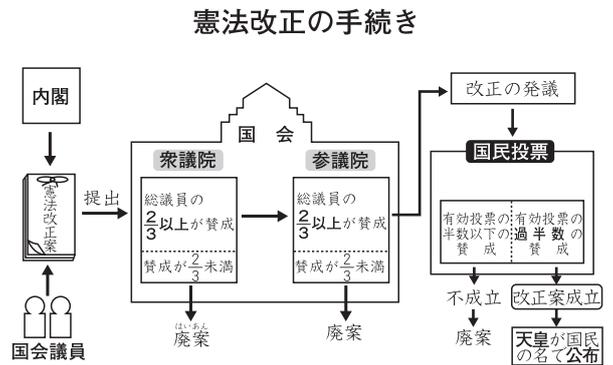
日本国憲法は、第9条において、戦争を放棄すること、戦力をもたない事、交戦権を認めないことを定めている。

## 5 国民の義務

日本国憲法は国民に対して、子どもに普通教育を受けさせる義務、勤労の義務、納税の義務の3つの義務を定めている。

## 6 憲法の改正

日本国憲法は国の最高法規であるため、改正には特別な手続きが定められている。衆議院と参議院のそれぞれ3分の2以上の賛成で国会が発議し、国民投票で過半数の賛成があれば改正案が成立する。



### ❖ 要点チェック

次の問いに答えなさい。

- ① 日本国憲法の三つの原則は何ですか。
- ② 日本国憲法では、憲法改正の発議には、衆議院・参議院のそれぞれにおいてどれだけの賛成が必要ですか。
- ③ ②の発議のあと、国民投票でどれだけの賛成があれば、改正案が成立しますか。
- ④ 日本国憲法では、天皇の地位は、日本国および日本国民統合の何であると定められていますか。
- ⑤ 天皇が行う、形式的・儀礼的な仕事のことを何と言いますか。
- ⑥ 国民が、人種・信条・性別・社会的身分などにより差別されないことを何の平等と言いますか。
- ⑦ 国民の三大義務は何ですか。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

## 練習問題

### 1 <日本国憲法> 右の写真について、次の問いに答えなさい。

(1) 日本国憲法が施行された5月3日は国民の祝日になっている。この祝日を次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア 憲法記念日      イ 建国記念の日      ウ 昭和の日      エ 文化の日

(2) 次の①～③は、日本国憲法の三つの原則を示している。それぞれの説明にあてはまるものを、あとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 国民主権 ( )      ② 基本的人権の尊重 ( )      ③ 平和主義 ( )

ア 基本的人権は「侵すことのできない永久の権利」である。

イ 天皇は国の元首で、統治権(国の政治を行う権限)をもっている。

ウ 戦争を放棄する。戦力をもたず、交戦権を認めない。

エ 国の政治を最終的に決めるのは国民である。

オ 天皇は陸海軍を統帥する(指揮, 統率する)権限をもっている。

(3) 日本国憲法に定められている国民の義務にあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア 子どもに普通教育を受けさせる義務      イ 納税の義務

ウ 国会議員を選挙する義務      エ 勤労の義務

(4) 日本国憲法では、天皇は、国の政治を行う権限をいっさいもたず、形式的・儀礼的な国事行為を行うと定められている。天皇の国事行為にあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア ないかくそうりだいじん内閣総理大臣を指名する      イ 衆議院を解散する

ウ さいこうさいばんしよちょうかん最高裁判所長官を任命する      エ 国会を召集する

### 2 <基本的人権> 基本的人権について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、平等権について定めた日本国憲法第14条の条文である。文中の□にあてはまる言葉を答えなさい。 ( )

すべて国民は□の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的または社会的関係において差別されない。

(2) 次の文は、日本国憲法第25条の条文である。これについて後の問いに答えなさい。

すべて国民は、健康で□的な最低限度の生活を営む権利を有する。

① この条文で述べられている権利を、社会権の中の何権というか、答えなさい。 ( )

② 文中の□にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア 社会      イ 理想      ウ 文化      エ 家庭

(3) 社会権にあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。 ( )

- ア 労働者に認められた労働基本権
- イ 勤労の権利
- ウ 裁判を受ける権利
- エ 教育を受ける権利

(4) 自由権は、身体の自由、精神の自由、経済活動の自由にまとめられる。経済活動の自由にあたるものを次から2つ選び、記号で答えなさい。 ( . )

- ア どこに住んでもよいし、どのような職業を選んでもよい。
- イ どのような宗教を信じてよいし、宗教を信じなくてもよい。
- ウ 法律の定める手続きによらなければ、生命や自由を奪われない。
- エ 自分で働いて得た財産を保持することができる。
- オ 共通の目的をもつ人々が集まったり、組織をつくったりできる。

(5) 近年、インターネットの普及などによって、個人の私的な情報が他人にもれたり、犯罪に利用されたりすることが起きている。これに対して、近年主張されるようになった新しい権利を何というか、答えなさい。 ( )

### 3 <平和主義> 平和主義について、次の問いに答えなさい。

次の文は、平和主義について述べている憲法の条文である。これについて後の問いに答えなさい。

1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる [1] と、武力による威嚇又は、武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達成するため、陸海空軍その他の [2] は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

(1)この条文は、憲法の第何条で述べられているか答えなさい。 (第 条)

(2)文中の [1] [2] に入る言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

[1] ( ) [2] ( )

- ア 戦争
- イ 核
- ウ 戦力
- エ 侵略

# 解答

## 《W小6社会》

### 1 憲法とわたしたちの暮らし 2～5ページ

#### ※ 要点チェック

- ①国民主権 平和主義 基本的人権の尊重 ②3分の2 ③過半数 ④象徴 ⑤国事行為 ⑥法の下での平等 ⑦勤労 納税 子どもに教育を受けさせる

#### 練習問題

- 1 (1)ア (2)①エ (2)ア (3)ウ (3)ウ (4)ア

**解説** (1)エの文化の日は、日本国憲法が公布された日である。(2)イ、才は大日本帝国憲法にあてはまる。(3)ウは国民の義務ではなく、権利である。(4)アの内閣総理大臣の氏名は、国会の仕事である。天皇は、国会で指名された内閣総理大臣を任命する。

- 2 (1)法 (2)①生存権 ②ウ (3)ウ (4)ア、エ (5)プライバシーの権利

**解説** (3)ウの裁判を受ける権利は、「基本的人権を守るための権利」にふくまれる。(4)イ、才は精神の自由、ウは身体の自由。

- 3 (1)9 (2) [1]ア [2]ウ

**解説** (1)憲法改正が議論される場合、最も論点とされる条項である。

### 2 暮らしを支える政治 6～9ページ

#### ※ 要点チェック

- ①立法機関 ②二院制 ③行政 ④閣議 ⑤地方自治 ⑥税金 ⑦18歳 ⑧国会 ⑨三審制 ⑩裁判員制度

#### 練習問題

- 1 (1)衆議院、参議院 (2)エ

**解説** (1)国会は、衆議院と参議院の二院制

がとられている。衆議院は、参議院よりも任期が短く、解散があるため、参議院よりも国民の意思を反映させる機会が多いと考えられ、いくつかの議決について、衆議院の優越が認められている。(2)エは裁判所の役割。

- 2 (1)ア 国務大臣 イ 閣議 (2)エ

**解説** (1)ア 国務大臣は、各省や庁の責任者で、内閣総理大臣によって任命される。国務大臣の過半数は、国会議員の中から選ばなければならない。イ 閣議とは、内閣が政治の方針を決めるために開く会議で、内閣総理大臣と国務大臣全員が出席し、閣議の決定は、全会一致を原則とする。

- 3 (1)3 (2)三審制

**解説** (1)、(2) 裁判を慎重に行うことによって裁判の誤りを防ぎ、人権を守るため、一つの事件について3回の裁判を求めることができる。

- 4 ア 選挙 イ 内閣総理大臣 ウ 行政権 エ 国民審査

**解説** 立法権・行政権・司法権の三権は、完全に独立しているのではなく、たがいにおさえ合い、つり合いを保つことによって、権力の行き過ぎを防いでいる。

- 5 (1)行政 (2)エ (3)ウ (4)国会に対して責任を負う。(5)衆議院

**解説** (2)アは天皇の国事行為、イ、ウは国会の仕事。(3)ア 内閣総理大臣は、国会議員の中から指名される。イ 国務大臣の過半数は国会議員でなければならない。エ 内閣総理大臣の任命は天皇の国事行為であるが、国務大臣の任命は内閣総理大臣が行う。

- 6 (1)A18 B25 C30 (2)ウ